

科目名		建築施工 I			
担当教員		渡部 和久		実務授業の有無	○
対象学科		建築士学科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築現場における施工計画とプロセス、管理方法など工事の進め方と、基本的な仕組みを座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築施工の概要と建築物の基礎の重要性を学ぶ。 2. 建築設計と関係が深いことを認識し、環境に適した各工法の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。			
学習目標 (到達目標)		ここではその種類の施工方法や製品管理の仕方、材料の種類など詳しく学び、それが理解できる様になる。工事方法を通じて建築に必要な専門用語も習得していく。 また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築施工(市ヶ谷出版社)			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	基礎地業工事 (地業工事) ①地業工事の種類 ②杭工事の工法の種類や工事方法 (基礎工事) ①基礎の種類や構造、役目			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目を理解する	
2	鉄筋コンクリート工事 (鉄筋コンクリートの概要) ①鉄筋コンクリートの構成、種類、施工手順			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する	
3	鉄筋コンクリート工事 (鉄筋工事) ①鉄筋コンクリートにおける鉄筋の役割と重要性、②鉄筋の施工前検討や組み立て方法③製品検査について④鉄筋の継手、定着、かぶり厚さの意味⑤確認問題			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～⑤を理解する	
4	小テスト			項目1～3から抜粋し小テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。	
5	鉄筋コンクリート工事 (型枠工事) ①型枠の役割と構成、加工・組立 ②型枠の解体計画・存置期間・検査の方法③確認問題			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する	
6	鉄筋コンクリート工事 (コンクリート工事) ①コンクリートの概要と性質、打設のプロセス ②確認問題			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 確認問題で、理解度を確認する。 達成目標：項目①～②を理解する	
7	小テスト			項目5～6から抜粋し小テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。	
8	鉄骨工事 ①鉄骨工事の躯体と仕上げ			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する	
9	工場製作 ①工場製作の流れと溶接の注意点、 ②製品検査			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する	
10	現場の進み方 ①現場建方の注意点、②接合方法各部詳細について 各部詳細について ①鉄骨造の仕上げ②材料の選定や納まり			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末試験	小テスト			施工は建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		プラントエンジニアリング 会社、ゼネコ、住宅会社で、構造設計・施工・技術開発を50年経験			